

## 献 辞

経済科学部教授の海生直人教授は、令和5年3月31日をもって本学をご退職されました。広島修道大学経済科学会では、教授のこれまでの本学への多大なる貢献に対して、心から感謝の気持ちを表し、今号を退職記念号として刊行させていただくことにいたしました。

海生教授は、昭和51年3月に広島大学工学部をご卒業後、広島大学大学院工学研究科に進学し、昭和53年3月に同大学院工学研究科修士課程を修了されました。その後、昭和56年3月に同大学院工学研究科博士後期課程を修了され、工学博士の学位を取得されました。

昭和56年4月から広島修道大学商学部に専任講師として赴任し、同58年に助教授、平成5年に教授に就任されました。その後、平成9年4月の広島修道大学経済科学部開設に伴い、広島修道大学経済科学部教授に配置換となりました。また、平成13年4月の広島修道大学大学院経済科学研究科開設に伴い、広島修道大学大学院経済科学研究科修士課程専任教授に就任され、同15年4月には同大学院経済科学研究科博士後期課程専任教授にも就任されております。

昭和56年4月から平成9年3月までは、商学部講師、助教授および教授として、主にオペレーションズ・リサーチの手法やその応用分野などについて、講義やゼミナールを通じた基礎から応用に至るまでの丁寧な教育活動に携わっておられました。平成9年4月からは、経済科学部教授として、主に経営システム科学の基礎から応用に至るまで、講義やゼミナールを通じて丁寧な教育活動に携わっておられました。教授がご担当されていた科目は、特に経済科学部経済情報学科における学修を進めるための基礎となる重要な科目となっておりますが、教授の卓越した教育能力と熱心なご指導によって、講義やゼミナールを受講した学生たちは順調に学修を進めることができたことと思います。

学会活動としては、日本オペレーションズ・リサーチ学会、電子情報通信学会、日本経営工学会などの役員や評議員として多方面で活躍され、それぞれの学会の発展にご尽力されました。また教授の優れた研究は学会において高く評価されており、本号の巻末に紹介させていただいている学術論文には教授の研究成果が散りばめられております。

海生直人教授には、広島修道大学にご着任以来、長年にわたり経済科学部における教育研究の発展のためにご尽力をいただきました。教授の献身的なご貢献に対して感謝の意を表させていただきますとともに、深くお礼を申し上げたいと思います。

海生教授のご健康と今後のますますのご活躍をお祈りして、献辞とさせていただきます。

2023年10月

経済科学部長  
前 田 純 一